

# 2026 春闘情報 ダイジェスト

～「ハートフルカンパニー」の実現をめざして!～

## No.3



2026 年 2 月 24 日  
東海旅客鉄道労働組合  
<https://www.jrtu.jp>



Japan-Railway-Robai-Workers-UNION / Japan-Railway-Robai-Workers-UNION / Japan-Railway-Robai-Workers-UNION

## 第2回 団体交渉

# 定期昇給完全実施 純ペア 13,000 円 各種手当引き上げを強く主張!

2月24日、2026 春季生活闘争第2回団体交渉を開催し、基準内賃金、各種手当の改善を中心に議論を展開した。

今回の団体交渉では、月例賃金総額 20,800 円以上の改善、及び 35 歳ポイントの基本給を 13,000 円引き上げることを強く求めた。さらに、奮闘する組合員の意欲向上と適切な業績配分の実現に向け、夏季手当 3.1 箇月の満額支給を強く求めた。

その結果、標準乗数「4」の完全実施に向け会社の経営状況に対する認識を確認したところ「業績は高水準にある」との認識が示された。また、期末手当については、「半期の業績を大きな指標とする」との見解が示されたと共に、安定的支給ベースのあり方についても課題を共有し、引き続きの議論を要請した。

また、職務手当については、この間の改善を求める意見が挙げられていることに加え、夜勤や不規則な勤務体系等、社会的な忌避感の高まりに合わせて見直されるべきであると主張した。会社からは「年月の経過とともに業務を取り巻く環境が変容していることから、現行の職務手当の設定が適切かどうかを改めて検証する時期に来ており、今次新賃金交渉においても労使で精力的に議論を進めていきたい。」との認識を確認した。

JR 東海ユニオンは、「人財こそが最大の財産」との揺るぎない価値観を礎に、未来を見据えた「人財への投資」を実現するため、組合員の努力と成果に見合う適正な配分を強く求め、「ハートフルカンパニー」の実現に向けた次なる一步を踏み出すべく、粘り強い交渉を展開していく。

### 【主な議論（主張）内容】

#### I 月例賃金総額 20,800 円以上の改善

- (1) 標準乗数を「4」とした定期昇給の年度初完全実施
- (2) 賃金をはじめ、各種労働条件・制度、福利厚生等の改善等を含む「総合生活改善の原資」として、16,000 円以上の改善  
定期昇給制度、退職手当制度の改善  
各種割増賃金の改善  
業務実態に適した職務手当、特殊勤務手当の改善  
地域差等における不均衡を解消する通勤手当等の改善  
職務手当、技能手当、高度資格保持者の処遇改善、病院への手当新設、出向作業手当、繁忙期手当

#### II 夏季手当

- (1) 支給月数 基準内賃金の 3.1 箇月
- (2) 支給日 6月30日

※詳細については、後日発行の「2026 春闘情報」をご確認ください。